

# アドボカシー・キャンペーン

## —市民の力で社会を変える方法を学ぶ—

### 研修概要

昨年の G8洞爺湖サミットでは、NGO による政策立案・働きかけやキャンペーンの重要性があらためて注目されました。いま、途上国の貧困問題に実効性を持って取り組んでいく上で、アドボカシーは不可欠です。この2日間研修では、「アドボカシーとは? なぜアドボカシーか」という基本から、「政策立案・働きかけ」と「パブリック・モビリゼーション」の手法まで、ワークショップなどをまじえて学びます。

### 日時

2009年7月18日(土)–19日(日)  
9:30~17:30 (2日間、休憩 12:30~13:30)

### 研修講師

ファシリテーター:

稲場 雅紀氏 (特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会プログラム・ディレクター)

サブ・ファシリテーター:

富田 杏子氏 (特定非営利活動法人 ハンガー・フリー・ワールド)

稲場氏は、90年代から日本国内および国際保健分野における人権やアドボカシー活動に携わっている。富田氏は、海外において国際 NGO の児童労働根絶キャンペーン活動に取り組んできた。現在、両氏は現職の他、世界の貧困削減およびMDGs 達成のための政策提言とパブリック・キャンペーンをおこなうネットワーク「貧困のない世界の実現をめざすネットワーク(仮)・日本 (GCAP Japan:Global Call to Action against Poverty)の運営委員を務める。

### 場所

当財団研修室

最寄り駅: 九段下 (都営新宿線、東京メトロ東西線、半蔵門線)

## 研修スケジュール

7月17日(土) 9:30~17:30		7月18日(日) 9:30~17:30	
第1枠	アドボカシーとは？ ～アドボカシーを行う動機を考える	第4枠	グループワーク： アドボカシーをデザインする ～「政策立案に向けた働きかけ」 & 「パブリック・モビリゼーション」の2つの 柱を立て、実際にアドボカシー活動を創 作する
第2枠	国際協力分野におけるアドボカシー ～国際協力 NGO の活動の中でアドボカ シーの重要性を考える	第5枠	国際協力の動向と日本国内におけ るアドボカシーの必要性 ～実践に結びつける
第3枠	多様な手法を組み合わせることで成果を 得るためには ～実例を通して、アドボカシーの手法を 知る		

\* 時間割、トピック等、一部変更される可能性があります。

## 受講料

3,000 円 (2 日間)

## 募集人数

13 名 (定員を上回る場合は選考の上、決定します。)

なお、上記人数に加え、現在 NGO ディプロマコース(1学期)を受講している7名  
が参加します。

## 応募要件

国際協力 NGO で働いている方(スタッフ、インターン、ボランティア)  
または、将来働くことを希望する方で、特に現在アドボカシーやキャンペ  
ーン活動に携わっている方を優先します。

## 申し込み

締切: **6月28日(日) 必着**

応募用紙(Word文書)に必要事項をご記入の上、[電子メールにてご応募ください](#)。  
([応募用紙は、当財団HPからワード文書でダウンロードできます。](#)) 申し込  
み受付後、3日以内(土日祝を除く)に当財団から応募確認のメールを折り返し  
送信いたします。確認メールが届かない場合は、下記担当者までお問合せくだ  
さい。締切後 1 週間以内にメールと郵送にて結果をお知らせします。

## お問合せ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 千代田会館 5 階

(財)国際開発高等教育機構 事業部 松本/宮原

TEL:03-5226-0304 FAX:03-5226-0023

E-mail:ngo\_diploma@fasid.or.jp

URL:<http://www.fasid.or.jp/kenshu/ngo/index.html>